

避難所運営

訓練で災害対応力を身に付ける

避難所運営では、大規模な災害が発生し、避難所生活が長期化する、集団生活のルールや、食料・飲料水の確保、ごみの処分、トイレの清掃など、避難者自身が避難所を切り盛りしなくてはなりません。避難所の集団生活を円滑に運営するため、避難者がグループに分かれ、それぞれの役割を行います。

避難所での主な役割は「情報班」「物資班」「救護班」「衛生班」の4つ。訓練では各班に分かれ、それぞれの役割を体験します。

求められる4つの役割



物資班 避難所で必要な物資の調達・受入・配給を行います。また、レスキューキッチンなどを使用し、避難者への炊き出しも行います。



衛生班 ごみ集積所や仮設トイレの設置場所の決定、避難者の入浴計画、ごみの分別計画、トイレの清掃計画など衛生管理を行います。



情報班 避難者の情報や収容状況などを管理するほか、市から収集した情報を避難者へ伝達します。また、避難所生活のルール決めも調整します。



救護班 負傷者・要配慮者の情報を把握するとともに避難者の健康・心のケア対策を行います。また、医療機関の情報を収集し、避難者へ伝達します。

災害が起きればみんな被災者

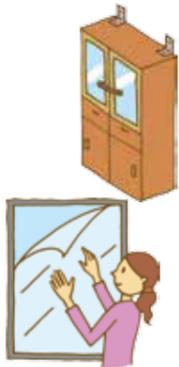
上今泉5丁目自治会
森藤自治会長

「いざという時、避難所に行けば助けてくれる」というのは誤りです。災害が起きれば、市職員・施設管理者・自治会役員もみんな被災者。避難所も避難者同士で主体的に運営しなければなりません。避難所運営訓練は発災時に自分や家族がどのような環境に置かれるかを確認できる貴重な機会です。そして各家庭で備えること(自助)の大切さを話し合い、できることから実行するきっかけにしてください。積極的に参加し体験してください。

減災・災害対応訓練にご参加を

岡海老名市社会福祉協議会
☎232-1600

「減災対策」と「災害対応」を同時に学ぶ体験型の訓練です。どなたでも参加できます。



▼日時 9月24日(日)10時～13時

▼会場 総合福祉会館

▼内容 家具の転倒・ガラスの飛散防止対策、水の備蓄と運び方、トイレの作り方など

▼費用 無料

▼申し込み 9月1日(金)から、電話またはファクスで住所・氏名・電話番号・年代を社会福祉協議会(☎232-1600、☎232-9561)へ。

15日(金)締め切り。

災害医療講演会

岡健康づくり課(☎232)7800

災害時の医療や医療体制について考えてみませんか。大規模災害発生時に、搬送や治療の優先順位を決める「トリアージ」をテーマにした講演会です。また、海老名総合病院に開設された救命救急センターについても紹介します。

▼日時 10月8日(日)10時～11時30分

▼会場 保健相談センター3階

▼定員 先着150人

▼内容・講師 ①海老名市の危機管理・災害対策体制/市危機管理課職員 ②救急医療と災害医療、トリアージ/市警防課職員 ③海老名総合病院救命救急センターの役割/同センター長 山際武志氏

▼費用 無料

▼持ち物 室内履き・外履き入れ

▼申し込み 9月1日(金)から、直接または電話で健康づくり課へ。



▲海老名総合病院に開設された県央地域初の救命救急センター

日時		訓練会場(避難所予定施設)	
9月	3日(日)	柏ヶ谷小学校	
	24日(日)	杉久保コミセン	
10月	1日(日)	柏ヶ谷コミセン/中新田コミセン/上今泉コミセン/門沢橋コミセンおよび有馬図書館/本郷コミセン/社家コミセン/下今泉コミセン/勝瀬文化センター/国分寺台文化センターおよび国分寺ケアセンター/えびな市民活動センター(ビナレッジ)/有鹿小学校/大谷小学校/杉久保小学校/杉本小学校	
		7日(土)	海老名小学校
		8日(日)	北部公園体育館
		14日(土)	今泉中学校
		15日(日)	大谷コミセン/大谷中学校
		21日(土)	海西中学校
		22日(日)	社家小学校
11月	5日(日)	上星小学校	
		中新田小学校	
		中野小学校	

※国分コミセンは改修工事のため実施しません。

訓練に参加しよう

市内31カ所の避難所予定施設で順次避難所運営訓練を実施していきます。事前申し込み不要。どこの訓練会場でも、何回でも参加できます。

訓練出発前に!

訓練当日の9時に防災行政無線でサイレンを鳴らします。これに合わせて、いざという時を想定し、各自シエイクアウト(安全確保行動)と安否確認フラッグを掲出し、冷静な行動が取れるようにしましょう。

シエイクアウト

地震発生時に身を守るためのシンプルな安全行動です。



①まず低く

②頭を守り

③動かない!

安否確認フラッグ

震度5弱以上の地震発生時、家族全員の無事が確認できたら掲出する黄色い旗です。



外国人の方にも安全を

えびな団地自治会
中谷自治会長

外国人世帯が3割以上を占めるうちの自治会では、1人でも多く訓練に参加してもらえよう、毎年英語版のちらしを作成し目立つ所に掲示しています。住民同士、いざという時は助け合えないといけません。訓練はコミュニケーションの場にもなっています。



◀ちらし効果で50人の外国人が参加したこと



市ホームページでも英語版のお知らせを掲載しています。お知り合いの外国人の方に、ぜひ周知を市ホームページへは二次元コードから▶